

第4学年1組 国語科学習指導案

1 単元名 段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう「アップとルーズで伝える」

2 単元設定の理由

【児童について】

- 本学級の子どもたちは、1学期に説明文「動いて、考えて、また動く」で、筆者の説明している事実と考えを読み分け、段落相互の関係を考えながら読む学習を行っている。また、書かれている内容に対しての自分の考えをもつ学習を経験してきている。

そこで、筆者の説明の仕方の工夫を捉えながら、段落相互の関係を読む力を身に付けさせたいこの期に、本単元を取り上げる。そして、筆者の考えを、文章全体の構成や文や段落の組み立ての工夫から捉えることができるようにする。



【教材について】

- 本単元は、写真と文章を対応させて読みながら各段落の要点をまとめることを通して、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成を捉えることをねらいとしている。
- 本教材は、私たちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べており、分かりやすい説明とはどのようなものであるかを学ぶのに適した教材である。
- 本単元に関しては、第3学年の「すがたをかえる大豆」で、中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら読んだり、写真と文章を対応させて読んだりする学習をしてきている。本単元では、これらの上に立って、段落相互の関係を考えるとともに、文章全体における段落の役割について考えることができるようにする。このことは、第5学年「天気を予想する」において、グラフや表、図、写真を使う意図を捉えて、筆者の論の進め方に対する自分の考えを書く学習へと発展していく。

【単元全体では、こんな表現活動を】

- 本単元では、各段落の要点をまとめた上で、対比している部分を丁寧に読み取り、段落相互の関係を捉え、説明の仕方の工夫について考えることができるようにする。そのために、グループ交流や全体交流を取り入れ、説明の仕方の工夫について交流を深めていく。その後、学習したことを生かして他の説明文の説明の仕方の特徴を見付け、グループごとに発表し合い、分かりやすい説明の仕方について自分の考えをまとめることができるようにする。

【本時（6/8）では、こんな表現活動を】

「アップ」と「ルーズ」の長所と短所を表に整理し、④⑤段落の内容を読み取った上で、「伝えられないこと」の文章の必要性について考え、伝え合うことで、④⑤段落の対比の関係を理解したり、「アップ」と「ルーズ」の特徴を強調していることに気付いたりすることができるようにする。

3 目標

- 文章全体におけるそれぞれの段落の役割や、対比の関係を示す接続語の働きを理解することができるようにする。 (知識及び技能)
- 「アップ」と「ルーズ」の特徴について写真と叙述を対応させながら中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を読み取ることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力)【読むこと】
- 写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとする態度を育てる。 (学びに向かう力)

4 単元計画 (全8時間)

	学 習 活 動	主 な 支 援
つ か む ①	<p>1 教材文と出会い、単元のめあてと学習の見通しをもつ。</p> <p>○ 「アップとルーズで伝える」を読んで、初発の感想を交流し、単元のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>単元のめあて 「アップとルーズで伝える」を読んで、段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう。</p> </div>	<p>○ 学習意欲を高めるために、サッカーの試合の動画を見せる。</p>
つ く る ④	<p>2 各段落の要点をまとめ、段落相互の関係を捉える。</p> <p>(1) 全文を読み、書かれている内容の大体を捉え、段落と写真を結び付ける。</p> <p>○ 文章全体を「初め・中・終わり」に分ける。</p> <p>○ それぞれの写真に対応する段落を見付ける。</p> <p>(2) ①～③段落の要点をまとめる。</p> <p>○ 主語・述語に着目したり、中心となる語や文を見付けたりしながら、要点をまとめる。</p> <p>○ ③段落になって「問い」が出てくる理由を考える。</p> <p>(3) ④～⑥段落の要点をまとめる。</p> <p>○ 主語・述語に着目したり、中心となる語や文を見付けたりしながら、要点をまとめる。</p> <p>○ ⑦段落の役割について考える。</p> <p>(4) ⑧段落の要点をまとめ、文章構成図を考える。</p> <p>○ 主語・述語に着目したり、中心となる語や文を見付けたりしながら、要点をまとめる。</p> <p>○ 段落相互の関係を考えながら、文章構成図を書く。</p>	<p>○ 写真と叙述の対応に気付くことができるように、それぞれの写真について説明している段落を見付ける活動を仕組む。</p> <p>○ 自分で要点をまとめることができるように、要点をまとめる手立てを提示しておく。</p> <p>○ 筆者の説明の工夫を見付けることができるように、③段落になって「問い」が出てくる理由を考えさせる。</p> <p>○ 段落相互の関係を捉えさせるために、まずそれぞれの段落に小見出しを付けさせ、その後文章構成図を書かせる。</p>
深 める ① 本 時 6 / 8	<p>3 筆者の説明の仕方の工夫を見付ける。(本時)</p> <p>○ ④、⑤段落の対比に着目し、表にまとめる。</p> <p>○ 「アップ」と「ルーズ」のそれぞれの「伝えられないこと」の必要性について話し合い、読みを深める。</p> <p>○ 対比を使って説明するよさを捉え、説明の仕方の工夫をまとめる。</p>	<p>○ 対比のよさに気付くことができるように、キーワードを表にまとめさせ、矢印で関係を捉えさせる。</p>
生 か す ②	<p>4 学習したことを生かして、他の説明文の説明の仕方の特徴を見つける。</p> <p>(1) 提示された説明文を読み、グループごとにその説明文の説明の仕方の特徴を話し合い、まとめる。</p> <p>(2) 見付けた特徴を発表し合い、納得した点や自分の考えを伝え合う。</p>	<p>○ 説明の仕方の特徴に気付くことができるように、今まで学習した説明文の特徴を掲示しておく。</p>

5 本時主眼

- ④⑤段落の中心となる語や文を見つけて表にまとめる活動を通して、「アップ」と「ルーズ」の
できることとできないことを読み取り、二つのものを比べて違いをはっきりさせる「対比」を使っ
て説明している筆者の書き方の工夫を読み取ることができる。

6 準備 掲示用写真、文カード、ホワイトボード、マーカー

7 展開

階	学 習 活 動 と 内 容	主な支援 (※主な発問)									
つ か む	<p>1 前時までの学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>○ 段落相互の関係を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①②でアップとルーズの説明をして、③に問いがあったよ。 ・⑧に筆者が一番伝えたいことが書いてあったよ。 <p>○ 説明の仕方に着目し、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>筆者の説明のしかたの工夫を読み取ろう。</p> </div>	<p>○ 前時までの内容と段落相互のつながりを振り返らせるために、既習図を活用する。</p> <p>○ 自分の考えをつくらせるために、考えをつくる手順を提示する。</p>									
つ く る	<p>2 ④⑤段落に着目して「アップ」と「ルーズ」の違いを読み取り、対比を使うよさについて自分の考えをつくる。 (表現活動②)</p> <p>○ 「アップ」と「ルーズ」の違いを表にまとめる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>伝えられること</th> <th>伝えられないこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ア ッ プ</td> <td>全身で喜びを表しながら走る選手の様子 (細かい部分の様子)</td> <td>走っている選手以外の、うつされていない多くの部分</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ル ー ズ</td> <td>選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合っている様子 (広いはんいの様子)</td> <td>各選手の顔つきや視線、それから感じられる気持ち</td> </tr> </tbody> </table>		伝えられること	伝えられないこと	ア ッ プ	全身で喜びを表しながら走る選手の様子 (細かい部分の様子)	走っている選手以外の、うつされていない多くの部分	ル ー ズ	選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合っている様子 (広いはんいの様子)	各選手の顔つきや視線、それから感じられる気持ち	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【表現活動②の手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末表現に着目する。 ・大事な言葉に線を引く。 ・大事な言葉を短く表にまとめる。 </div> <p>○ 全員が自分の考えを発言できるようにするために、グループ交流の場の設定する。</p>
	伝えられること	伝えられないこと									
ア ッ プ	全身で喜びを表しながら走る選手の様子 (細かい部分の様子)	走っている選手以外の、うつされていない多くの部分									
ル ー ズ	選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合っている様子 (広いはんいの様子)	各選手の顔つきや視線、それから感じられる気持ち									
深 め る	<p>3 ④⑤段落の「アップ」と「ルーズ」のそれぞれの「伝えられないこと」の必要性について話し合い、読みを深める。 (表現活動③)</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px;"> <p>「アップ」と「ルーズ」の特徴がより伝わるからだと思います。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px; width: fit-content;"> <p>⑧段落の筆者が一番伝えたかったことにつなぐためだと思います。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>筆者は、「アップ」と「ルーズ」をくらべてちがいをはっきりさせ、筆者の考えをより分かりやすく伝えている。</p> </div> <p>○ ④⑤段落以外で「対比」で書かれている部分を見付ける。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【表現活動③の目的・支援】</p> <p>「伝えられないこと」の必要性について根拠をもって自分の考えを伝え合うことで、それぞれの特徴を強調して書いている筆者の説明の仕方の工夫を捉えることができるようにする。</p> <p>グループ交流が活性化するように、交流のモデルを提示し、全員が自分の考えを述べるができるようにする。</p> </div> <p>※ 筆者がわざわざ「伝えられないこと」を説明しているのはなぜだと思いますか。</p> <p>○ 考えの深まりや伝え合う活動のよさを感じ取らせるために、「今日の学習で」の観点を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容について分かったこと ・筆者の書き方の工夫 ・友だちとの伝え合いで深まったこと 									
生 か す	<p>4 「今日の学習で」を書いて本時学習をまとめる。</p> <p>○ 振り返りの観点に沿って「今日の学習で」を書く。</p> <p>○ 書いたことを発表し合う。</p>										